

2月第3回例会プログラム

R2.2.17 (月) 12:30～

於：京成ホテル 例会場

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. ビジター・ゲスト紹介
4. 会長の時間
5. 入会式 小林 一裕会員
6. 会食
7. 委員会報告
8. 幹事報告
9. 卓話 大根田 ケイ会員
10. 閉会点鐘

今後の予定

2月24日(月・祝)	休会(振替休日)
3月2日(月)	卓話 小林 一裕会員
3月9日(月)	昼の例会
3月16日(月)	クラブフォーラム
3月23日(月)	夜の例会
3月30日(月)	休会(定款第8条第1節)

第3分区インターシティ・ミーティング開催

2月9日(日)に水戸プラザホテルにて、第3分区石田ガバナー補佐を中心にIMが開催されました。各クラブからは「スポーツがもたらす地域への貢献」をテーマとして、スポーツ事業への関わりが発表されました。

我クラブからは、山根会員が代表として地域密着の野球チーム『茨城アストロプラネッツ』のことを中心に発表して頂きました。運営に対するご苦労や今後の展望など短い時間ではありましたが、内容の濃い話を聞くことが出来ました。今回の山根会員の話だけでもIMの講演として聞く価値がある大変興味のあるもので、今後はクラブ内で、もっと話を聞きたいと思いました。

基調講演では、水戸ホーリーホック顧問の萩原武久氏によるお話しをお聞きしました。いろいろな方面からスポーツに係ることをお聞きしましたが、筑波大学名誉教授だけのことにはあり、格調高いもので、大学の講義を受けているようでした。懇親会では10名の水戸さくらRCの会員が残ってくださり、また、久々に他のクラブの方ともお逢いすることも出来、楽しいひと時を送ることが出来ました。次々年度は大木ガバナー補佐を中心にIMを開催しなくてはならないため、参考になりました。



第 29 回外国人による日本語スピーチコンテスト開催

会長 和田 公一郎

2/8 日 (土) 晴天の下、ザ・ヒロサワ・シティ会館・小ホールで首記の第 29 回外国人による日本語スピーチコンテストが開催されました。

このコンテストは我がクラブとも関わりが長く私が入会した 11 年前には既に国際奉仕委員会の下で参加しておりました。

300 人が収容される小ホールはほぼ満席で、散歩のついでと言ったご夫婦連れも散見できます。

51 名がエントリーし、うち 15 名が発表者と成りました。

国籍は多彩でインドネシア、サウジアラビア、スコットランド、ベトナム、インド、スリランカ、ウズベキスタン、ブラジル、ネパール、韓国、中国です。

皆さんの母国のこと、日本のこと、お国柄と内容が多彩で、スリランカの女性が日本女子は子供を作らないのに乳母車に犬を入れて歩いているのが不思議だと言っていました。

別の話では「日本食に慣れましたか」と聞かれる時、「外国人だと認識されて警戒」されていると感じると申しておりました。飽きない 2 時間でした。

兎に角面白いので来年の外国人による日本語スピーチコンテストにはご家族連れでご参加ください。

我がクラブは成績第 2 位の県議会議長賞を担当しており、会場にも「水戸さくらロータリークラブより賞金が渡されます」とアナウンスがあり、大いに面目を施しましたことをご報告いたします。



例会出席状況報告

■ 2 月第 1 回 (2 月 3 日) 例会出席報告

在籍	計算会員数	出席 A	訂正前出席率	メイクアップ数 B	A+B	訂正出席率%
29 名	27 名	18 名	66.67%	- 名	18 名	66.67%

■ 当日欠席者

大泉 哲、伊藤 典裕、永井 郁夫、中村 幸生、鈴木 拓治、山根 将大、高野 義久、井坂 純、小林 新、【休会】根本 佳典、川上 裕一

■ ゲスト・ビジター (敬称略)

篠原 啓一	常陸太田 RC 会長
草野 朋子	常陸太田 RC 幹事

1991 年 10 月 28 日創立、1991 年 11 月 13 日認証

■ 会長 和田 公一郎 幹事 井坂 純

■ 事務所

〒310-0021 水戸市南町 2 丁目 5-5 常陽銀行本店内

TEL 029 (231) 2151、直通 029 (225) 4820、FAX (225) 4825

会報・雑誌委員長 川上 裕一 [TEL 029 (248) 8989]

副委員長 高野 義久 [TEL 029 (303) 2322]

■ 例会日 毎週月曜日 12 時 30 分

(但し毎月末月曜日は 18 時 30 分より)

会場 水戸市三の丸 1-4-73

水戸京成ホテル

TEL 029 (226) 3111 (代)